

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年3月18日(2024.3.18)

【国際公開番号】WO2021/257257
 【公表番号】特表2023-531445(P2023-531445A)
 【公表日】令和5年7月24日(2023.7.24)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-137
 【出願番号】特願2022-578652(P2022-578652)
 【国際特許分類】

10

A 6 1 M 25/06(2006.01)

A 6 1 B 5/153(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/06 5 0 0

A 6 1 B 5/153 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月7日(2024.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

血管アクセスデバイスを介して挿入するように構成された血管アクセス器具であって、前記血管アクセス器具は、

軸の周りに巻かれた平坦なワイヤによって複数のループに形成されたコイルであって、前記コイルの前記複数のループの各々が、前記複数のループの次の隣接するループから離間されている、コイル、を含む血管アクセス器具。

30

【請求項2】

前記コイルの少なくとも一部を通して延びるコアワイヤをさらに備える、請求項1に記載の血管アクセス器具。

【請求項3】

前記コアワイヤが円筒形である、請求項2に記載の血管アクセス器具。

【請求項4】

前記コアワイヤが平坦である、請求項2に記載の血管アクセス器具。

【請求項5】

前記コアワイヤが前記軸と整列されている、請求項2に記載の血管アクセス器具。

【請求項6】

40

前記コアワイヤが、前記軸からオフセットされる、請求項2に記載の血管アクセス器具。

【請求項7】

前記平坦なワイヤは、第1の側および前記第1の側の反対側の第2の側を含み、前記第1の側は、前記コイルの外周を形成し、前記第2の側は、前記コイルの内周を形成し、前記コアワイヤは、前記コイルの前記内面に結合される、請求項6に記載の血管アクセス器具。

【請求項8】

前記コイルを通して延びる細長いストリップをさらに備え、前記複数のループのそれぞれが遠位端および近位端を含み、前記遠位端および前記近位端が前記細長いストリップに

50

接触する、請求項 1 に記載の血管アクセス器具。

【請求項 9】

前記コイルの間に延びる複数の支持ビームをさらに備え、前記複数の支持ビームの第 1 のセットが前記軸に平行な第 1 のラインに沿って配置され、前記複数の支持ビームの第 2 のセットが前記軸に平行な第 2 のラインに沿って配置され、前記第 1 のラインが前記第 2 のラインから離間されている、請求項 1 に記載の血管アクセス器具。

【請求項 10】

前記第 1 のラインは、前記第 2 のラインから 180 度離れている、請求項 9 に記載の血管アクセス器具。

【請求項 11】

前記複数の支持ビームの第 3 のセットが、前記軸に平行な第 3 のラインに沿って配置され、前記第 1 のライン、前記第 2 のライン、および前記第 3 のラインが、前記コイルの円周の周りに均等に間隔を置かれている、請求項 9 に記載の血管アクセス器具。

10

【請求項 12】

前記コイルの完全なひねりが、前記第 1 のセットの次の隣接する支持ビーム、前記第 2 のセットの次の隣接する支持ビーム、および前記第 3 のセットの次の隣接する支持ビームの間に配置される、請求項 11 に記載の血管アクセス器具。

【請求項 13】

前記コイルが別の複数のループを含み、前記別の複数のループが前記複数のループに近接し、前記コイルの前記別の複数のループのそれぞれが、前記別の複数のループの前記次の隣接ループの円周に沿って前記別の複数のループの次の隣接ループに接触する、請求項 1 に記載の血管アクセス器具。

20

【請求項 14】

血管アクセスシステムであって、
カテーテルアダプタ、および、前記カテーテルアダプタから遠位方向に延びるカテーテルを備えるカテーテルアセンブリと、

前記カテーテルアセンブリに結合された器具前進デバイスであって、前記器具前進デバイスは、血管アクセス器具を含み、前記器具前進デバイスは、前記血管アクセス器具を、前記カテーテルの遠位端を越えて格納位置から前進位置に前進させるように構成され、前記血管アクセス器具は、軸の周りに複数のループに巻かれた平坦なワイヤによって形成されたコイルを含み、前記コイルの前記複数のループの各々は、前記複数のループの次の隣接ループから離間され、前記カテーテルの前記遠位端は、遠位開口部を含み、前記コイルは、前記血管アクセス器具が前記前進位置にあることに応答して、前記カテーテルの前記遠位開口部を通して延在する、前記器具前進デバイスと、を含む血管アクセスシステム。

30

【請求項 15】

前記カテーテルの前記遠位端が、複数のディフューザ孔を備える、請求項 14 に記載の血管アクセスシステム。

【請求項 16】

複数のコイルを通して延びるコアワイヤをさらに備え、前記カテーテルの前記遠位開口部での前記コアワイヤ内のギャップをさらに備える、請求項 14 に記載の血管アクセスシステム。

40

【請求項 17】

前記コイルの間に延びる複数の支持ビームをさらに備え、前記複数の支持ビームの第 1 のセットが前記軸に平行な第 1 のラインに沿って配置され、前記複数の支持ビームの第 2 のセットが前記軸に平行な第 2 のラインに沿って配置され、前記第 1 のラインが前記第 2 のラインから離間されている、請求項 14 に記載の血管アクセスシステム。

【請求項 18】

前記コイルの完全なひねりが、前記第 1 のセットの次の隣接支持ビームと前記第 2 のセットの次の隣接支持ビームとの間に配置される、請求項 17 に記載の血管アクセスシステム。

50

【請求項 19】

血管アクセスデバイスを介して挿入するように構成された血管アクセス器具であって、前記血管アクセス器具は、

管状要素を備える遠位端であって、前記管状要素が複数の穴を備える、遠位端と、ワイヤと、

前記管状要素と前記ワイヤとの間に配置されたコネクタであって、前記コネクタが別の複数の孔を備える、前記コネクタと、
を備える血管アクセス器具。

【請求項 20】

前記管状要素の遠位端が閉じられている、請求項 19 に記載の血管アクセス器具。

10

20

30

40

50